

<h1>第 75 号</h1>	<h1>Super Highway</h1>	
<p>発行日 2023.11.14</p>	<p>J R 東労組バス関東本部</p>	<p>J R 東労組ホームページ</p>

2023 年末手当満額回答！ 組織強化・拡大！！

申 2 号「2023 年度年末手当等に関する申し入れ」の団体交渉の議論概略②です。

- 組合) 社長からのメッセージに輸送力 70%という記述があるが、そもそも社員数の減少がなぜ起こったのか。輸送力不足に直結しているのではないか。
- 会社) 65 歳以上で契約を終了した人は居ます。コロナ渦で大幅に自己都合退職が増えたとは思っていないが、このままでは生活が出来ないと言って辞めていった方もいるというのは、経営幹部を含め認識している。減ったのは採用がなかった部分。コロナ渦中は収入源・輸送力が無かったが、戻ってきているので採用を再開している。
- 組合) 魅力は賃金が最たるもの。この賞与を魅力として見てもらえる額を出して欲しい。
- 会社) 賃金だけが魅力ではないと考えるが、賃金が大きな魅力であるのは間違いない。運輸業はほとんど赤字の中、当社は数少ない黒字であるが、業界全体として厳しい時代が続くであろうことを考えると、賃金については中長期的に見ている。一喜一憂しているような認識ではない。
- 組合) 繁忙期の黒字は、要員不足の中での職場の努力という認識でいいのか
- 会社) 要員不足とは？輸送力をコロナ前まで戻すというところか、今のお客様数に合わせるところで要員不足なのか？会社としては、収益・利益を出していくためには選択と集中で、使命を終えた路線、コロナ後の回復率が極めて悪い路線は選択していく。赤字をわざわざ生み出す路線を運行していくということはない。
- 組合) 買い上げに頼らなければこの成果は無かったという話をしている。
- 会社) そこはわかっている。乗る路線、乗らない路線ははっきりしているから、赤字の路線を再開して原資を減らすという認識はないし、コロナ前のように本数を増やすこともない。過剰輸送力は生むべきではない。選択と集中でやってきたから利益が出た。買い上げで利益が出ているのはそうだが、要員が減ったから買い上げがべらぼうに増えたというわけではないと考える。

J R バス 関東で働く仲間を一つに！